

第 2 次豊橋市環境基本計画

進捗状況

取り組みの目標の進捗状況

環境目標		指 標	基準値A (H21実績)	R2年度 目標値B	R1年度 実績値C	進捗率 (C-A)/(B-A)×100	進捗状況 ※1
I	低炭素社会 の実現により 保全する 地球環境	①エコファミリーの登録件数（累計）[世帯]	1,493	15,000	16,604	>100.0%	◎
		②再生可能エネルギー施設の設置量（累計）※2[kW]	94,576	210,000	243,153	>100.0%	◎
		③1日当たりの公共交通利用者数[千人/日]	77	79			
		④電動アシスト自転車普及台数（累計）[台]	845	7,500	7,215	95.7%	○

II	多様な生物 が生息し、 人と共生する 自然環境	①自然環境の保全啓発活動への参加者数[人]	3,487	3,500	1,610	<0.0%	△
		②外来生物を駆除した池数（累計）[池]	6	50	38	72.7%	△
		③森林保育作業の参加者数[人/年]	56	120	194	>100.0%	◎
		④干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数※2 [人/年]	450	470	442	<0.0%	△
		⑤環境保全型農業を実践している農家の割合[%]	18.2	36.0	37.4	>100.0%	◎
		⑥市民1人当たりの都市公園面積[m ²]	9.77	10.00	10.13	>100.0%	◎

III	資源を大切に し、循環を 基調とする 社会環境	①市民1人が1日に出す生活系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない。)[g]	790	709	648	>100.0%	◎
		②再生家具等展示・販売会における入札申込者数※2 [人/年]	584	700	201	<0.0%	△
		③リサイクル率[%]	17.1	28.0	27.2	92.7%	○
		④530運動等の参加者数[人/年]	180,000	185,000	177,200	<0.0%	△
		⑤雨水貯留槽設置補助件数（累計）[件]	376	960	773	68.0%	△

IV	健全で快適 な生活環境	①環境基準達成率（大気）[%]	93.3	94.0	94.4	>100.0%	◎
		②工場・事業場立入件数（大気、騒音等）※2[件/年]	154	180	131	<0.0%	△
		③環境基準達成率（水質）[%]	90.6	96.0	89.6	<0.0%	△
		④工場・事業場立入件数（水質、土壌等）※2[件/年]	123	150	118	<0.0%	△
		⑤下水道普及率 (公共下水道、地域下水道合計)[%]	78.8	82.3	79.6	22.9%	△
		⑥景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の 件数（累計）[件]	192	360	377	>100.0%	◎
		⑦公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	28	140	130	91.1%	○

V	環境への意 識と知恵を はぐくむ文 化環境	①地球温暖化対策出前講座の実施回数[回/年]	5	25	5	0.0%	△
		②環境イベントの参加者数[人/年]	7,272	8,510	9,700	>100.0%	◎
		③地域資源回収実施回数※2[回/年]	2,065	2,168	2,502	>100.0%	◎
		④文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	61,840	62,000	69,524	>100.0%	◎
		⑤教育文化施設の利用者数[千人/年]	1,289	2,193	1,934	71.3%	△

※1 進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率90%以上100%未満 △…進捗率90%未満（計画期間10年のうち9年が経過したため）

※2 計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値をH26実績としている。また、進捗率についてもH26実績を基準に計算しており、改訂後の計画期間5年のうち4年が経過しているため、進捗状況の判断基準は以下の通りとする。
進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率80%以上100%未満 △…進捗率80%未満

環境目標 I 低炭素社会の実現により保全する地球環境

基本施策	I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進	
	I-2. エコモビリティライフの推進	

▼目標

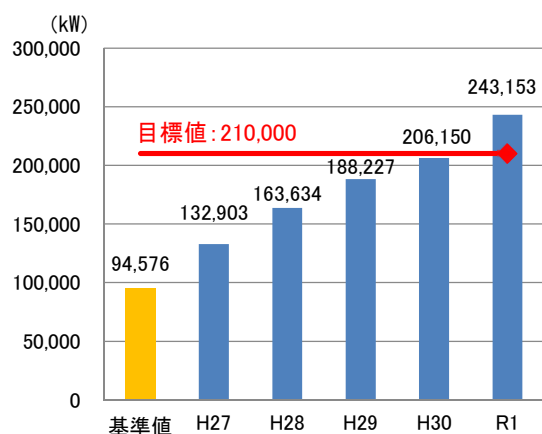
地球温暖化対策を進め、二酸化炭素の排出が少ない低炭素社会を実現することにより、恵まれた環境を将来の世代に継承し、地球環境の保全に寄与することを目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
エコファミリーの登録件数(累計) [世帯]	1,493	4,261	6,357	8,302	9,836	11,299
再生可能エネルギー施設の設置量(累計) [kW]	94,576*	-	-	-	(94,576)	(132,903)
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	77	75	75	77	79	81
電動アシスト自転車普及台数(累計) [台]	845	1,889	2,652	3,373	3,934	4,554

取組の目標	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値(R2)
エコファミリーの登録件数(累計) [世帯]	1,493	12,781	14,212	15,382	16,604	15,000
再生可能エネルギー施設の設置量(累計) [kW]	94,576*	163,634	188,227	206,150	243,153	210,000
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	77	82	83	83		79
電動アシスト自転車普及台数(累計) [台]	845	5,199	5,849	6,515	7,215	7,500

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

再生可能エネルギー施設の設置量 (累計)



▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	21	H23	2	10%	17	80%	2	10%	-	A	A
		H24	1	5%	18	85%	2	10%	-	B	
		H25	2	10%	15	71%	4	19%	-	A	
		H26	4	19%	13	62%	4	19%	-	A	
		H27	4	19%	14	67%	3	14%	-	A	
改訂後	25	H28	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	A
		H29	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	
		H30	4	16%	20	80%	1	4%	-	A	
		R1	3	12%	20	80%	2	8%	-	A	

実績評価

◎：順調に進んでいる、○概ね順調に進んだ、△あまり順調に進んでいない
総合評価・総括評価

A：成果が上がった、B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった、D：成果が上がらなかった

▼環境目標 I の評価

- ・取組の目標のうち、エコファミリーの登録件数や再生可能エネルギー施設の設置量は令和元年度時点で目標を達成しています。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年着実に成果を上げることができました。
- ・補助制度の充実やバイオマス活用センターの稼働等により、再生可能エネルギーの利用を促進することができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

A

環境目標Ⅱ

多様な生物が生息し、人と共生する自然環境

基本施策	Ⅱ-1. 生物多様性の保全	Ⅱ-4. 農地の保全
	Ⅱ-2. 森林の保全と利用の促進	Ⅱ-5. 水と緑のネットワークの充実
	Ⅱ-3. 河川・海岸・ため池の保全	

▼目標

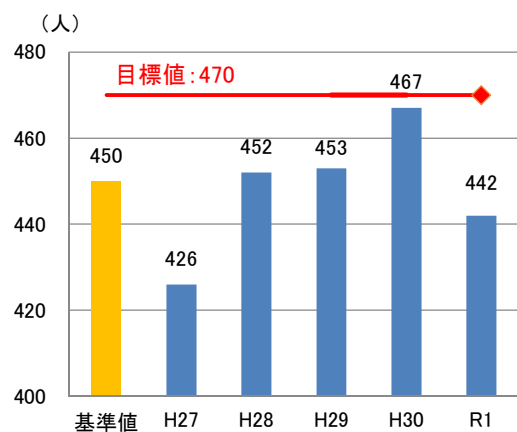
私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらすこの自然環境を、かけがえのないものとして将来にわたって保全し、人と自然が共生できる社会を目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
自然環境の保全啓発活動への参加者数 [人/年]	3,487	2,506	1,008	844	2,309	1,136
外来生物を駆除した池数(累計) [池]	6	15	19	23	25	30
森林保育作業の参加者数 [人/年]	56	114	100	114	101	80
干潟保全実践プロジェクト 関連イベント参加者数 [人/年]	450*	-	-	-	(450)	(426)
環境保全型農業を実践している農家の割合 [%]	18.2	27.3	28.1	28.4	30.4	30.6
市民1人当たりの都市公園面積 [㎡]	9.77	9.87	9.89	9.95	9.96	10.02

取組の目標	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値(R2)
自然環境の保全啓発活動への参加者数 [人/年]	3,487	1,413	1,393	1,242	1,610	3,500
外来生物を駆除した池数(累計) [池]	6	32	34	36	38	50
森林保育作業の参加者数 [人/年]	56	110	150	224	194	120
干潟保全実践プロジェクト 関連イベント参加者数 [人/年]	450*	452	453	467	442	470
環境保全型農業を実践している農家の割合 [%]	18.2	36.0	36.5	36.8	37.4	36.0
市民1人当たりの都市公園面積 [㎡]	9.77	10.03	10.05	10.07	10.13	10.00

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数



▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価					総合評価	総括評価		
			◎	○	△	完了等					
当初	36	H23	6	17%	24	66%	6	17%	-	A	B
		H24	4	12%	27	79%	3	9%	2	A	
		H25	3	9%	25	78%	4	13%	4	B	
		H26	4	12%	23	72%	5	16%	4	A	
		H27	2	6%	25	78%	5	16%	4	B	
改訂後	35	H28	1	3%	32	91%	2	6%	-	B	B
		H29	4	11%	27	78%	4	11%	-	A	
		H30	3	9%	28	80%	4	11%	-	B	
		R1	3	9%	29	82%	3	9%	-	B	

実績評価

◎：順調に進んでいる、○概ね順調に進んだ、△あまり順調に進んでいない
総合評価・総括評価

A：成果が上がった、B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった、D：成果が上がらなかった

▼環境目標Ⅱの評価

- ・取組の目標のうち、環境保全型農業を実施している農家の割合は、令和元年度時点で目標を達成し、干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数は、令和元年度に減少したものの、概ね順調に進捗しています。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年概ね成果を上げることができました。
- ・外来種駆除や葦毛湿原の植生回復実験の実施などにより、生物多様性の確保・保全に関する取組を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

環境目標Ⅲ

資源を大切にし、循環を基調とする社会環境

基本施策	Ⅲ-1. ごみ減量の推進	Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用
	Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進	
	Ⅲ-3. 環境美化活動の促進	

▼目標

廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用及び資源の有効利用を進め、持続的な発展が可能となるよう循環を基調とする社会環境の形成を目指します。

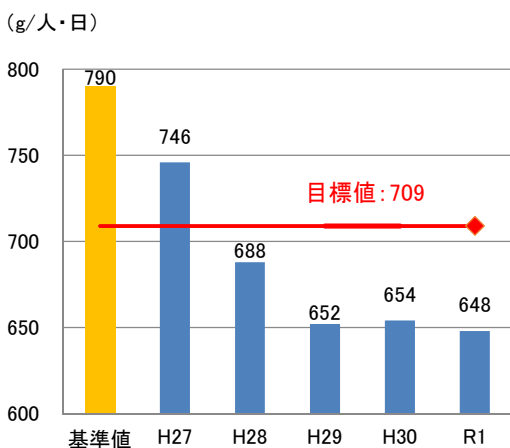
取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
市民1人が1日に出す生活系ごみ ^{※1} の量 (事業所から出るごみを含まない。)[g/人・日]	790	772	772	764	750	746
再生家具等展示・販売会における 入札申込者数 [人/年]	584 ^{※2}	(563)	(491)	(457)	(584)	(495)
リサイクル率 [%]	17.1	18.1	19.9	19.3	18.2	18.0
530運動等の参加者数 [人/年]	180,000	175,000	175,000	174,500	175,400	201,000
雨水貯留槽設置補助件数(累計) [件]	376	492	567	616	665	699

取組の目標	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値(R2)
市民1人が1日に出す生活系ごみ ^{※1} の量 (事業所から出るごみを含まない。)[g/人・日]	790	688	652	654	648	709
再生家具等展示・販売会における 入札申込者数 [人/年]	584 ^{※2}	597	649	477	201	700
リサイクル率 [%]	17.1	18.0	24.2	26.3	27.2	28.0
530運動等の参加者数 [人/年]	180,000	176,500	173,900	175,900	177,200	185,000
雨水貯留槽設置補助件数(累計) [件]	376	722	747	759	773	960

※1 国の用語に合わせるため見直し。環境基本計画本編の「家庭系ごみ」と同義であり、考え方も同様である。

※2 計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

市民1人が1日に出す生活系ごみの量



▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	43	H23	3	7%	35	81%	5	12%	-	B	B
		H24	2	5%	39	90%	2	5%	-	B	
		H25	2	5%	38	88%	3	7%	-	B	
		H26	4	9%	36	84%	3	7%	-	B	
		H27	5	12%	34	79%	4	9%	-	A	
改訂後	44	H28	6	14%	35	79%	3	7%	-	A	A
		H29	5	11%	36	82%	3	7%	-	A	
		H30	6	14%	35	79%	3	7%	-	A	
		R1	5	11%	33	75%	6	14%	-	A	

実績評価

◎：順調に進んでいる、○概ね順調に進んだ、△あまり順調に進んでいない
総合評価・総括評価

A：成果が上がった、B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった、D：成果が上がらなかった

▼環境目標Ⅲの評価

- ・取組の目標のうち、市民1人が1日に出す生活系ごみの量は、令和元年度時点で目標を達成し、リサイクル率については新たな取組等により大幅に改善し、概ね順調に進捗しています。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年着実に成果を上げることができました。
- ・市民のごみに対する意識の向上に繋がる取組を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

A

環境目標Ⅳ

健全で快適な生活環境

基本施策	IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止	IV-4. ヒートアイランド対策の推進
	IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全	
	IV-3. ゆとりある生活空間の創出	

▼目標

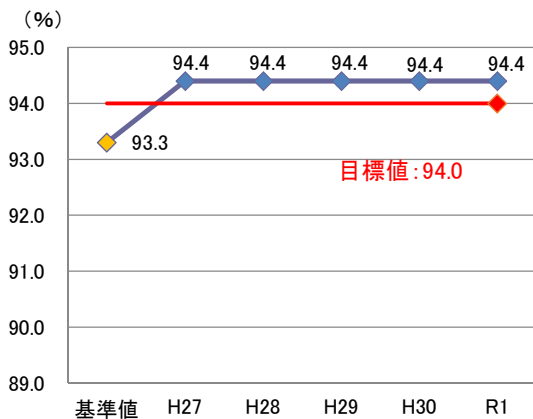
大気汚染や騒音・振動、水質汚濁、有害化学物質による汚染などに対する監視や防止対策を進め、私たちの生活環境を保全するとともに、健全で快適なゆとりある生活空間を創出することを目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
環境基準達成率(大気) [%]	93.3	88.6	94.4	88.9	91.1	94.4
工場・事業場立入件数(大気、騒音等) [件/年]	154*	-	-	-	(154)	(174)
環境基準達成率(水質) [%]	90.6	90.6	89.6	89.6	89.6	89.6
工場・事業場立入件数(水質、土壌等) [件/年]	123*	-	-	-	(123)	(177)
下水道普及率(公共下水道、地域下水道合計) [%]	78.8	79.1	79.3	79.9	80.0	80.1
景観形成地区の景観に配慮された 建築工事等の件数(累計) [件]	192	228	246	264	283	292
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	28	39	118	132	132	128

取組の目標	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値(R2)
環境基準達成率(大気) [%]	93.3	94.4	94.4	94.4	94.4	94.0
工場・事業場立入件数(大気、騒音等) [件/年]	154*	195	270	146	131	180
環境基準達成率(水質) [%]	90.6	89.6	89.6	89.6	89.6	96.0
工場・事業場立入件数(水質、土壌等) [件/年]	123*	269	219	122	118	150
下水道普及率(公共下水道、地域下水道合計) [%]	78.8	79.9	79.6	79.4	79.6	82.3
景観形成地区の景観に配慮された 建築工事等の件数(累計) [件]	192	312	333	363	377	360
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	28	128	131	134	130	140

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

環境基準達成率(大気)



▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	52	H23	2	4%	45	86%	5	10%	-	B	B
		H24	1	2%	47	90%	4	8%	-	B	
		H25	1	2%	47	90%	4	8%	-	B	
		H26	3	6%	44	84%	5	10%	-	B	
		H27	3	6%	44	84%	5	10%	-	B	
改訂後	54	H28	3	6%	46	85%	5	9%	-	B	B
		H29	2	4%	46	85%	6	11%	-	B	
		H30	3	6%	46	85%	5	9%	-	B	
		R1	3	6%	44	81%	7	13%	-	B	

実績評価

◎：順調に進んでいる、○概ね順調に進んだ、△あまり順調に進んでいない
総合評価・総括評価

A：成果が上がった、B：概ね成果が上がった

C：あまり成果が上がらなかった、D：成果が上がらなかった

▼環境目標Ⅳの評価

- ・取組の目標のうち、環境基準達成率(大気)は、令和元年度時点で目標を達成しています。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年概ね成果を上げることができました。
- ・大気や水質等の常時監視等の実施を行うほか、園庭や校庭の芝生化などにより緑化を推進することで、ゆとりある生活環境の形成を進めることができました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

B

環境目標V

環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境

基本施策	V-1. 環境に関する教育啓発の推進	
	V-2. 環境保全活動の推進	
	V-3. 文化の継承と活用	

▼目標

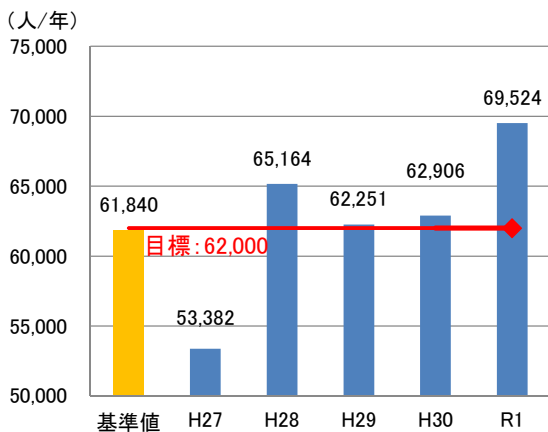
環境保全に関する教育や啓発を進めることで、私たち一人ひとりの環境に対する意識を高めるとともに、市民活動などを通じて地域の文化を守り、継承し、自然や将来世代を思いやる知恵をはぐくむ文化環境の形成を目指します。

取組の目標	基準値	H23	H24	H25	H26	H27
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回/年]	5	18	17	15	17	15
環境イベントの参加者数 [人/年]	7,272	5,000	6,000	6,000	7,402	9,300
地域資源回収実施回数 [回/年]	2,065*	(2,332)	(2,408)	(1,924)	(2,065)	(2,087)
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	61,840	72,903	69,895	56,300	56,944	53,382
教育文化施設の利用者数 [千人/年]	1,289	1,271	1,309	1,259	1,402	1,894

取組の目標	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値(R2)
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回/年]	5	12	19	8	5	25
環境イベントの参加者数 [人/年]	7,272	8,900	5,182	9,100	9,700	8,510
地域資源回収実施回数 [回/年]	2,065*	2,127	2,346	2,401	2,502	2,170
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	61,840	65,164	62,251	62,906	69,524	62,000
教育文化施設の利用者数 [千人/年]	1,289	2,014	1,959	1,797	1,934	2,193

※計画改訂により取組の目標を新たに設定したため、基準値は平成26年度実績としている。

文化財関連イベント・展覧会等の参加者数



▼取組の実施状況の評価

計画	取組数	年度	実績評価						総合評価	総括評価	
			◎	○	△	完了等					
当初	39	H23	2	5%	34	87%	3	8%	-	B	A
		H24	0	0%	37	95%	2	5%	-	B	
		H25	0	0%	39	100%	0	0%	-	B	
		H26	5	13%	32	82%	2	5%	-	A	
		H27	5	13%	29	76%	4	11%	1	A	
改訂後	41	H28	6	15%	34	83%	1	2%	-	A	A
		H29	4	10%	35	85%	2	5%	-	A	
		H30	6	15%	34	83%	1	2%	-	A	
		R1	5	12%	33	81%	3	7%	-	A	

実績評価

◎：順調に進んでいる、○概ね順調に進んだ、△あまり順調に進んでいない
 総合評価・総括評価
 A：成果が上がった、B：概ね成果が上がった
 C：あまり成果が上がらなかった、D：成果が上がらなかった

▼環境目標Vの評価

- ・取組の目標のうち、環境イベントの参加者数や文化財関連イベント・展覧会等の参加者数は、令和元年度時点で目標を達成しています。
- ・年度ごとの総合評価を見ると、毎年着実に成果を上げることができました。
- ・小学校出前講座の実施やごみ処理施設の見学会の開催などにより、ごみ処理や環境問題に興味・関心を持ってもらえるような取組を進めるとともに、動植物公園などの教育文化施設でも魅力を高める取組を進めました。

取組の目標の達成状況や具体的な取組の実施状況等から総合的に判断して評価

(A：成果が上がった B：概ね成果が上がった C：あまり成果が上がらなかった D：成果が上がらなかった)

A